

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成26年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	薄別（うすべつ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、札幌市の南西、国道230号を定山溪温泉から約8.5km中山峠に向かった無意根大橋付近の急傾斜地であり、平成12年に大規模な地すべりが発生した箇所である。</p> <p>地すべり活動は、集水井工等を施工し抑止を図ったところであるが、法面において崩壊が数カ所で発生しており、既設の地すべり対策工に影響を与える可能性があることから当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.35ha、溪間工3基 主な保全対象 国道100m 総事業費 130,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	165,505千円	
	総費用（C）	122,043千円	
	分析結果（B / C）	1.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 法面崩壊により、治山施設に被害を与え再び地すべり活動が活発化する等の恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、直下の国道の保全が図られることから、有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	法導寺の沢 （ほうどうじのさわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成24年9月9日～12日の集中豪雨により、両岸に侵食崩壊が発生し、直下の芦別市頼城地区へ土砂を含んだ沢水が大量に流下し、市道の側溝を埋没させ人家へ床下浸水等の被害を与えた箇所である。</p> <p>今後の降雨等により、崩壊地の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂の流出が発生し、直下の神社や市道に被害を与える恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工2基 主な保全対象 神社1社、市道300m 総事業費 30,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	46,777千円	
	総費用（C）	28,845千円	
	分析結果（B/C）	1.62	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 今後の降雨等によって、崩壊地の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂の流出が発生し直下の神社や市道に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・有効性 当事業の実施により、崩壊地の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂の流出が抑制され、下流域の保全が図られることから、有効性が認められる。 ・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	墓地の沢（ぼちのさわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成22年9月の集中豪雨により溪岸侵食が発生し、溪床内に多量の不安定土砂が堆積している箇所である。 今後の豪雨や融雪時において溪岸侵食の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂の流出が発生し、下流の人家や農地等に被害を与える恐れがあることから当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工2基 主な保全対象 人家1戸、農道150m、農地2.1ha 総事業費 23,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	34,428千円	
	総費用（C）	22,115千円	
	分析結果（B / C）	1.56	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 豪雨や融雪等により、溪岸侵食の拡大や溪床内に堆積している不安定土砂の流出により、下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、溪岸侵食の拡大と溪床内に堆積する不安定土砂の流出が抑制され、下流にある保全対象の保全が図られることから、有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	井寒台（いかんたい） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、浦河郡浦河町の北西部に位置し、直下には人家や国道がある箇所である。</p> <p>しかし、斜面には崩壊地が存在し、既設落石防護壁工の天端の一部に亀裂が発生していることから、このまま放置した場合、直下の人家や国道に被害を与える恐れがあるため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.09ha 主な保全対象 人家5戸、国道100m 総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	280,403千円	
	総費用（C）	38,460千円	
	分析結果（B / C）	7.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 崩壊地からの流出土砂や、既設落石防護壁工の亀裂について、このまま放置すれば直下の人家等に被害を与える恐れが懸念されるため、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、山腹斜面の安定が図られ、人家、国道を保全することができることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	越海（こしうみ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、日高郡新ひだか町の南東部に位置し、直下には人家や国道がある箇所である。</p> <p>しかし、斜面の一部に表層剥離が見られ、人家裏へ落石が発生していることから、このまま放置した場合、直下の人家や国道に被害を与える恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.04ha 主な保全対象 人家3戸、国道50m 総事業費 26,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	151,432千円	
	総費用（C）	24,999千円	
	分析結果（B / C）	6.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 実際には落石が発生しており、今後直下の人家や国道に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 事業の実施により、山腹斜面の安定が図られ、人家、国道を保全することができることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	杉田地先 （すぎたちさき） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、新冠郡新冠町の北西部に位置し、直下には養豚場があり地域産業において重要な地域であるが、平成23年5月の融雪の影響により山腹崩壊が発生し、その崩壊土砂が養豚場へ流出し被害を与えた箇所である。 現在も斜面には多量の不安定土砂が堆積した状態にあり、今後の降雨等により養豚場へ被害を与える恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工3.40ha 主な保全対象 養豚場 総事業費 70,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	960,995千円	
	総費用（C）	67,305千円	
	分析結果（B / C）	14.28	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により、崩壊地の拡大等が発生し、直下の養豚場へ再度被害を及ぼすことが懸念されるため、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当該事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、養豚場の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	初山別川 （しょさんべつがわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、遠別町南部に位置し、溪床内に多量の不安定土砂が堆積している箇所である。</p> <p>今後の豪雨等により溪床内に堆積する不安定土砂が流出し、下流の林道に被害を与える恐れがあることから、不安定土砂の流出防止を図ることを目的に当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工3基 主な保全対象 林道500m 総事業費 68,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	108,051千円	
	総費用（C）	62,756千円	
	分析結果（B / C）	1.72	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の豪雨等により不安定土砂が流出し、下流の林道へ被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、林道を保全することができることから有効性は認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	築別三毛別 （ちくべつさんけべつ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、羽幌町北東部に位置し、直下には灌漑用水施設である羽幌ダムに続く唯一の管理道である町道があるが、地すべりにより町道の路体が波打ち車両の通行ができない状況となっている箇所である。</p> <p>このような状況を放置すると、ダムの管理に影響を与えるとともに、降雨等により地すべり活動が活発化し、下流の町道にさらなる被害を与える可能性があるため、当事業を計画するものである。</p> <p>主な事業内容 地すべり防止工0.92ha 主な保全対象 町道150m 総事業費 85,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	181,831千円	
	総費用（C）	81,728千円	
	分析結果（B / C）	2.22	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、灌漑用の羽幌ダムの管理に影響を与えるとともに、大規模な土砂崩壊等の恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業により、町道が保全されること及び保安林機能の維持、向上が見込めることから有効と認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧事業（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	竹藤の沢 （たけふじのさわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、士別市西部に位置し、豪雨等の影響により両岸に崩壊地が発生し、その崩壊した土砂が溪床内に不安定土砂として堆積している箇所である。</p> <p>今後の降雨等により崩壊地の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂が流出することにより、林道に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工1基 主な保全対象 林道150m 総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	42,168千円	
	総費用（C）	19,230千円	
	分析結果（B / C）	2.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により両岸の崩壊地の拡大等が発生し、林道へ被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、崩壊地の拡大や不安定土砂流出の防止が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧事業（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成26年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	起登臼（きとうす） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、礼文島東部に位置し、平成24年3月30日に発生した雪崩が斜面途中の立木を巻き込みながら国有林直下の民地まで流下した箇所である。今回は立木により人家まで被害が及ばなかったが、今後雪崩が発生した場合は直下の人家に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.53ha 主な保全対象 人家5戸 総事業費 75,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	110,780千円	
	総費用（C）	70,821千円	
	分析結果（B / C）	1.56	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 国有林直下に人家があり、再度雪崩が起きた際には人家に被害を及ぼす危険があるため、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 雪崩防止柵の設置により、雪崩発生の防止が図られ、人家を保全することができることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧事業（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	香深井（かふかい） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、礼文島東部に位置し、平成24年1月28日に発生した雪崩が国有林直下の人家裏に達した箇所である。</p> <p>雪崩発生箇所には雪崩防止柵が設置されていたが、沢地形により局所的に雪が溜まり、積雪深が著しく大きくなったため雪崩が発生したことから、新規に大型の雪崩防止柵を設置し、国有林直下の人家の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.08ha 主な保全対象 人家2戸 総事業費 7,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	44,964千円	
	総費用（C）	6,731千円	
	分析結果（B / C）	6.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 国有林直下には人家があり、再度雪崩が起きた際には被害を及ぼす恐れがあるため、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当該事業の実施により、雪崩発生の防止が図られ、人家を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧事業（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	上支湧別地区 （かみしゅうべつちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、遠軽町東部に位置し、平成23年9月の豪雨の影響により山腹崩壊が発生し、その崩壊土砂及び立木が、直下の国有林林道に被害を与えながら、民地付近まで流出した箇所である。</p> <p>平成24年度に災害関連緊急治山事業として山腹基礎工を施工したが、緑化工については未実施であり、今後の降雨等により法面が侵食され、新たな崩壊等が発生することも懸念されるため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.43ha 主な保全対象 道道150m、林道130m 総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	188,096千円	
	総費用（C）	19,230千円	
	分析結果（B / C）	9.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により法面侵食が発生し、崩壊等の恐れもある事から、下流の道道及び林道の保全のため、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、道道及び林道の保全が図られ、早期緑化が期待できることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧事業（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	十二線沢 （じゅうにせんさわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、滝上町南部に位置し、平成24年4月下旬の融雪等の影響により十二線沢支流の上流部で山腹崩壊が発生した箇所である。</p> <p>山腹崩壊による土塊が約300m流下し、本流を閉塞させており、今後の降雨等により決壊し、下流の農地等へ被害を及ぼす恐れがあることから、下流域の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 深間工2基（内嵩上げ1基） 主な保全対象 農地15.0ha 総事業費 28,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	49,415千円	
	総費用（C）	26,922千円	
	分析結果（B / C）	1.84	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 崩壊土塊は、依然として本流を閉塞させており、今後の降雨等により決壊の恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、河道閉塞の解消及び土砂流出防止を図り、農地を保全する事ができることから有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	1377林班 （1377りんばん） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、斜里町北東部に位置し、平成24年5月の豪雨の影響により平成15年施工の山腹工の法面が崩壊した箇所である。</p> <p>崩壊土砂は既設土留工の落石防止柵に捕捉されたことで、直下の宿泊施設や国道への被害は無かったが、今後の降雨等により、崩壊地が拡大し宿泊施設や国道へ被害を与える恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.30ha 主な保全対象 宿泊施設1戸、国道100m 総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	186,712千円	
	総費用（C）	38,460千円	
	分析結果（B / C）	4.85	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により崩壊地が拡大し、宿泊施設や国道に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、宿泊施設や国道への保全が図られることから有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	オショモオマップ川 （おしょまおまっぷかわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当箇所は、斜里町北東部に位置し、平成20年の豪雨によりオショモオマップ川溪岸部が崩壊し、その崩壊土砂がオホーツク海沿岸に流出した箇所である。</p> <p>崩壊斜面は依然として不安定な状態であり、降雨等のたびに、崩壊地の拡大や土砂の流出等が発生しており、国道の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.50ha 主な保全対象 国道50m 総事業費 45,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	91,699千円	
	総費用（C）	43,268千円	
	分析結果（B / C）	2.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により崩壊地が拡大し、国道に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、崩壊地の拡大等が防止され、国道の保全が図られることから有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	左股（ひだりまた） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当箇所は、白糠町北部に位置し、平成24年5月の豪雨の影響により山腹崩壊及び溪岸侵食が発生し、直下の国道274号に土砂が流出し、一時通行止めとなった箇所である。</p> <p>今後の降雨等により山腹崩壊地の拡大及び溪床内に堆積する不安定土砂の流出により、下流の国道等へ被害を与える恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.10ha、溪間工3基 主な保全対象 国道50m、林道100m 総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	106,353千円	
	総費用（C）	38,460千円	
	分析結果（B / C）	2.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により山腹崩壊地の拡大及び溪床内に堆積する不安定土砂の流出により、国道等へ被害を与えるおそれがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、国道等の被害防止及び森林の保全が図られることから有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	マツの沢・村の沢 （まつのさわ・むらのさわ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当箇所は本別町東部に位置し、平成24年5月の豪雨により山腹崩壊及び溪岸侵食が発生し、その崩壊土砂が下流の町道へ流出し被害を与えた箇所である。</p> <p>溪床内には不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨等により崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出が発生し、町道等へ再度被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工3基 主な保全対象 町道200m 総事業費 30,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	47,736千円	
	総費用（C）	29,326千円	
	分析結果（B / C）	1.63	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により崩壊地の拡大及び溪床内にある不安定土砂の流出が発生し、再び被害を与える恐れがあるため当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、町道を保全することができることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成26年（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	オナオベツ （おなおべつ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、広尾町南部に位置し、平成24年5月の豪雨を起因とした山腹崩壊及び溪岸侵食が発生し、下流の国道及び漁家へ土砂が流出し被害を与えた箇所である。</p> <p>溪床内には不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨等による崩壊地の拡大等によって、下流の国道、漁家へ再び被害を及ぼす恐れがあることから、国道等の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工3基 主な保全対象 漁家1戸、国道80m 総事業費 78,100千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	211,625千円	
	総費用（C）	73,466千円	
	分析結果（B / C）	2.88	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等による崩壊地の拡大や溪床内の不安定土砂の流出により、下流の保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、土砂流出の抑制が図られ、国道、漁家を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	栄浜地区 （さかえはまちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、島牧村西部に位置し、海岸段丘の急崖地であり直下には道央圏と日本海側の檜山地方を結ぶ国道229号がある箇所である。</p> <p>しかし、山腹斜面には不安定な転石が多数点在していることから、今後の融雪等の影響により落石が発生し直下の国道へ被害を与える恐れがあることから当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.16ha 主な保全対象 国道80m 総事業費 15,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	138,425千円	
	総費用（C）	14,423千円	
	分析結果（B / C）	9.60	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 山腹斜面には転石が点在しており、放置すれば直下の国道に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、直下の国道の保全が図られることから事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	千走地区（ちはせちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成23年5月に発生した地すべりにより、地すべり地上部に位置する村道「ふるさと林道千走線」の舗装路面に亀裂が入る等の被害を与えた箇所である。</p> <p>平成24年度に災害関連緊急治山工事を実施し、集水井工等を施工し地すべりの抑止を図った所であるが、地すべり地下部において堆積土砂が押し出していることから、当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.12ha 主な保全対象 村道100m 総事業費 50,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	109,779千円	
	総費用（C）	48,075千円	
	分析結果（B / C）	2.28	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地すべり地下部に位置する山腹斜面が不安定化しており、このまま放置すれば、村道に被害に被害を与える恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、山腹斜面の復旧が図られることから事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	湯内川地区 （ゆないがわちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成22年7月29日の豪雨の影響により、山腹崩壊及び溪岸侵食が発生し、朝日温泉の温泉施設連絡道路を決壊させ、朝日温泉へ多量の土石流が流出する災害が発生した箇所であり、平成23年度に災害関連緊急治山工事を実施したところであるが、新たに山腹崩壊地が発生し、不安定化した土石が堆積していることから当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.21ha 主な保全対象 温泉施設連絡道路50m 総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	156,240千円	
	総費用（C）	38,460千円	
	分析結果（B / C）	4.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 今後の降雨等により崩壊地が拡大し、温泉施設連絡道路に被害を与える恐れがあることから当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により崩壊地が復旧し、温泉施設連絡道路の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	松園地区（まつそのちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、厚沢部町中心部に位置し、平成23年9月17日の豪雨の影響により溪床内に堆積していた不安定土砂が下流へ流出し、道道の道路施設の配水管等を塞ぎ道路等が冠水するという被害を与えた箇所である。</p> <p>溪床内には倒木を含む不安定土砂が依然として堆積している状況であり、今後の降雨等により、上流崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の人家、道道へ被害を及ぼす恐れがあることから、当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工1基 主な保全対象 人家3戸、道道80m 総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	135,307千円	
	総費用（C）	19,230千円	
	分析結果（B / C）	7.04	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 溪流内には依然として倒木を含む不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により不安定土砂の流出や上流崩壊地の拡大の恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、土砂流出の抑制が図られ、人家、道道を保全することができることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	定山溪地区 （じょうざんけいちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、札幌市南西部の豊平峡ダムの上流部に位置し、水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>豊平川の上流部にある豊平峡ダムは札幌市の水瓶として水資源を確保する上で重要なダムであり、上流域の森林については保安林機能の維持、向上が望まれている。</p> <p>しかし、人工林が過密な状態となっており、下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるために当事業を計画したものである。</p>		
	<p>主な事業内容 本数調整伐190ha</p> <p>主な保全対象</p> <p>総事業費 23,800千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	379,435千円	
	総費用（C）	22,446千円	
	分析結果（B / C）	16.90	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	浜益地区（はまますちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、石狩市浜益区の浜益川上流部に位置し、水源涵養保安林に指定されている。</p> <p>浜益川は石狩市浜益区の生活用水及び農業用水として重要な河川であり、上流域の森林については保安林機能の維持、向上が望まれている。</p> <p>しかし、人工林が過密な状態となっており、下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるために当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐183ha 主な保全対象 総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	341,462千円	
	総費用（C）	18,611千円	
	分析結果（B / C）	18.35	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成26年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	余市川上流地区 （よいちがわじょうりゅうちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、余市郡赤井川村北東部の余市川上流部に位置し、水源涵養保安林に指定されている。</p> <p>余市川は余市町、仁木町及び赤井川村の生活用水及び農業用水として重要な河川であり、上流域の森林については保安林機能の維持、向上が望まれている。</p> <p>しかし、人工林が過密な状態となっており、下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業を計画するものである。</p>		
	<p>主な事業内容 本数調整伐170ha</p> <p>主な保全対象</p> <p>総事業費 24,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	373,712千円	
	総費用（C）	22,944千円	
	分析結果（B / C）	16.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	芦別地区（あしべつちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、空知川の支流で芦別市と赤平市に位置し、人工林が過密であることから生育が著しく阻害されている状態である。 今後、この人工林がさらに過密になると下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐244ha 主な保全対象 総事業費 22,400千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	571,717千円	
	総費用（C）	21,538千円	
	分析結果（B/C）	26.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	三笠地区（みかさちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、三笠市東部に位置し、人工林が過密であることから生育が著しく阻害されている状態である。 今後、この人工林がさらに過密になると下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐55ha 主な保全対象 総事業費 5,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	108,913千円	
	総費用（C）	4,808千円	
	分析結果（B / C）	22.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	夕張地区（ゆうぱりちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、夕張市南部に位置し、人工林が過密であることから生育が著しく阻害されている状態である。 今後、この人工林がさらに過密になると下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐65ha 主な保全対象 総事業費 7,400千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	159,355千円	
	総費用（C）	7,115千円	
	分析結果（B / C）	22.40	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成28年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	振内地区（ふれないちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平取町の北東部に位置し、人工林が過密状態にあり生育が阻害されている林分である。 これにより、下層植生の生育も阻害され、水源のかん養機能の低下が懸念されていることから、健全な森林の回復を目的として当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐95.68ha 主な保全対象 総事業費 12,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	199,802千円	
	総費用（C）	10,890千円	
	分析結果（B / C）	18.35	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 このまま放置が続くと、人工林がさらに過密状態となり、下層植生の生育に影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	浜啓明地区 （はまけいめいちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、留萌地方北部の遠別町に位置し、防風保安林に指定されている箇所である。</p> <p>周囲には国道、道道及び牧草地があり、保安林機能の維持、向上が求められているが、北西からの強い季節風の影響を受け未立木地となっていることから、早期に林地へ回復するため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工0.23ha 主な保全対象 総事業費 14,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	23,302千円	
	総費用（C）	12,987千円	
	分析結果（B / C）	1.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、林地への早期回復が期待できず保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、早期に林地回復が図れ、保安林機能の向上が期待できることから、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	佐久地区（さくちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中川町南西部に位置し、人工林が過密となり生育が阻害されている状況にある。</p> <p>今後、人工林がさらに過密になり下層植生の生育を妨げ、表土等の流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐56.10ha 主な保全対象 総事業費 5,985千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	111,158千円	
	総費用（C）	5,755千円	
	分析結果（B / C）	19.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密になり、下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	和寒地区（わっさむちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、和寒町西部に位置し、近郊には西和貯水池の水源地があり、水源涵養保安林に指定されているが、人工林が過密で下層植生の生育が阻害されている状況にある。</p> <p>今後、人工林がさらに過密化しさらに下層植生の生育を妨げ、表土流出等の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐33.89ha 主な保全対象 総事業費 3,925千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	62,980千円	
	総費用（C）	3,774千円	
	分析結果（B / C）	16.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり、下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	船泊地区 （ふなどまりちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、礼文島の北部にあり、100m程度の丘陵地帯で、礼文町の取水源のひとつである大沢川の源流部から河口に沿った斜面に位置し、水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、当地区の山頂、山腹部は西側からの強い季節風の影響をうけ未立木地となっていることから、早期に林地に回復させるため植栽工を計画するとともに、昭和40年代に植林した人工林が過密で下層植生の生育が阻害されている箇所については、表土の流出の恐れがあるため、本数調整伐を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工0.56ha、防風柵工1,058m、本数調整伐24.44ha 主な保全対象 総事業費 16,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	51,502千円	
	総費用（C）	15,865千円	
	分析結果（B / C）	3.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、水源涵養保安林の機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、早期に林地回復が図れることや、下層植生の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	鷺泊・鬼脇・仙法志地区 （おしどまり・おにわき・せんほうしちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、利尻島に位置し、人工林が過密で下層植生の生育が阻害されている状況である。</p> <p>今後、人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、表土等の流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため本数調整伐を計画したものである。</p> <p>また、季節風の影響をうけ未立木地となっている箇所について、保安林としての機能を十分に発揮できない状況にあることから、早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるため植栽工を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工1.00ha、本数調整伐41.24ha 主な保全対象 総事業費 5,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	72,419千円	
	総費用（C）	5,288千円	
	分析結果（B / C）	13.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、水源涵養保安林の機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、早期に林地回復が図れることや、下層植生が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	枝幸地区（えさしちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、枝幸町市街地からおよそ10km南に位置し、海岸線に近く海側に国道238号が通り、背後には牧草地があり防風保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、気象害の影響により未立木地となっていることから、早期に林地へ回復するため植栽工を計画するとともに、昭和40年代に植栽した造林地について過密化しており、早期に林内照度を上げ、植栽木や下層植生の健全な生育を発揮させるため、本数調整伐を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工4.12ha、本数調整伐8.33ha 主な保全対象 総事業費 7,390千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	58,773千円	
	総費用（C）	7,105千円	
	分析結果（B / C）	8.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、林地への早期回復が期待できず保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	山白地区（やまうすちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、枝幸町市街地から25km南に位置し、周辺には牧草地があり防風保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、昭和40年代に植林した人工林が過密な状態で、植栽木の生育が阻害されている状況であることから、早期に林内の照度を上げ、植栽木の良好な生育を促すため本数調整伐を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐13.28ha 主な保全対象 総事業費 4,550千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	43,337千円	
	総費用（C）	4,375千円	
	分析結果（B / C）	9.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、保安林機能が低下し周辺地域への風害等が予想されることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により林内照度が上がり、植栽木の樹幹の形成等に良好な成長が図られ、保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	猿払地区（さるふつちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、猿払村に位置し、海岸線に近く背後には酪農地が広がっており防風保安林に指定されている箇所である。 しかし、海側より強い季節風と潮による影響をうけ未立木地となっており、保安林機能が十分に発揮できない状況にあることから、早期に林地回復を図るため、植栽工を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工1.40ha、防風柵工737m 主な保全対象 総事業費 11,400千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	18,660千円	
	総費用（C）	10,961千円	
	分析結果（B / C）	1.70	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置すれば、早期に林地への回復が期待できず保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、早期に林地回復が図れ、保安林機能の向上が期待できることから、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	高山地区（たかやまちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、上川町層雲峡温泉郷より上川町方面に約3.0km進んだ大雪山国立公園内に位置している。</p> <p>しかし、人工林が過密なため生育が阻害されている状況にあり、今後、人工林の過密化が進むことにより下層植栽の生育が圧迫され、表土等の流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業の実施を計画するものである。</p>		
	<p>主な事業内容 本数調整伐88.44ha 主な保全対象 総事業費 10,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	199,933千円	
	総費用（C）	9,615千円	
	分析結果（B / C）	20.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに人工林が過密状態となり、下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業を実施することにより、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ、保安林機能の維持、向上が期待できるため有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な事業内容で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	富良野・山部 （ふらの・やまべ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、富良野市西部に位置し、人工林が過密なため生育が阻害されている状況である。</p> <p>今後、人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、表土流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるために当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐59.55ha 主な保全対象 総事業費 4,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	109,363千円	
	総費用（C）	4,327千円	
	分析結果（B / C）	25.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、更に林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	落合（おちあい） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、南富良野町南部に位置し、人工林が過密なため生育が阻害されている状況である。 今後、人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、表土流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐253.67ha 主な保全対象 総事業費 19,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	490,589千円	
	総費用（C）	18,749千円	
	分析結果（B / C）	26.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	滝地区（たきちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、遠軽町の南部に位置し、水源涵養保安林に指定されているが、植栽木が過密で下層植生の生育を妨げており、降雨等により表土の流出が懸念されることから、早期に林内照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐37.31ha 主な保全対象 総事業費 4,400千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	63,954千円	
	総費用（C）	4,231千円	
	分析結果（B / C）	15.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり、下層植生に多大な影響を及ぼし保安林機能が低下することから、当事業の実施の必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	湧別地区（ゆうべつちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、サロマ湖に注ぐ芭露川の上流で、湧別町の西部に位置し、気象害等の影響で未立木地となっている箇所である。 現状のまま放置すれば、水源涵養機能の低下により下流域に影響を及ぼす恐れがあることから、早期に林地回復を図り、森林機能の強化を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工4.93ha 主な保全対象 総事業費 5,100千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	7,373千円	
	総費用（C）	4,904千円	
	分析結果（B / C）	1.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 未立木地の放置が続けば、森林機能の低下により下流域への影響が予測されることから、本事業を実施する必要性は認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、未立木地化している森林の再生が図られ、森林機能の向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	紋別地区（もんべつちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別市南東部に位置し、下流には飲料用の取水施設があり水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、人工林が過密なため生育が阻害されている状況で、今後、人工林がさらに過密となり下層植生の生育を妨げ、表土の流出が懸念されるため、早期に林内照度を上げ、下層植生を健全に生育させ、保安林機能の維持、向上を図るため当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐21.96ha 主な保全対象 総事業費 2,600千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	36,017千円	
	総費用（C）	2,500千円	
	分析結果（B / C）	14.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり、下層植生に多大な影響を及ぼし保安林機能が低下することから、当事業の実施の必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	北見地区（きたみちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、北見市などの水源として、また、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている常呂川の下流に位置し、土砂流出防備保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、人工林が過密状態にあり下層植生の生育が阻害されていることから、保安林機能の維持、向上のため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐30ha 主な保全対象 総事業費 2,700千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	61,216千円	
	総費用（C）	2,497千円	
	分析結果（B / C）	24.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 保安林機能の発揮が求められている地域であり、放置が続けば保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の向上が期待できることから、有効性が認められる ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年度～平成27年（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	網走東部地区 （あばしりとうぶちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、北見市などの水源として、また、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている常呂川の上流に位置し、水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、人工林が過密状態にあり下層植生の生育が阻害されていることから、保安林機能の維持、向上のため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐200ha 主な保全対象 総事業費 18,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	379,110千円	
	総費用（C）	16,651千円	
	分析結果（B / C）	22.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 保安林機能の発揮が求められている地域であり、放置が続けば保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の向上が期待できることから、有効性が認められる ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	開陽地区（かいようちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中標津町東部に位置し、水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、気象害等の影響により未立木地となっていることから、植栽工により林地への早期回復を図り、保安林機能を向上させるために当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工7.25ha 主な保全対象 総事業費 7,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	22,806千円	
	総費用（C）	7,211千円	
	分析結果（B / C）	3.16	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の低下により周辺地域への表土流出等の被害が予想されることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林機能の向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	川北地区（かわきたちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、標津町西部に位置し、人工林が過密で生育が阻害されている状況である。 今後、人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、保安林機能の低下が懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため本数調整伐を行うものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐107.15ha 主な保全対象 総事業費 10,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	270,316千円	
	総費用（C）	9,615千円	
	分析結果（B / C）	28.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり、植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、早期に事業着手する必要がある。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	陸別その2 （りくべつその2） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、陸別町の北部、利別川の上流域に位置し、水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、気象害の影響により未立木地となっていることから、植栽工により早期に林地回復を図り、保安林機能の向上させるため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工27.22ha 主な保全対象 総事業費 15,132千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	50,395千円	
	総費用（C）	14,549千円	
	分析結果（B / C）	3.46	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の低下により周辺地域への表土流出等の被害が予想されることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林機能の向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年～平成26年（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	上士幌地区 （かみしほろちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、上士幌町に位置し大雪山国立公園内であり、下流には水道取水施設があることから水源涵養保安林に指定されている箇所である。</p> <p>しかし、平成23年9月の台風12号により風倒被害があり、保安林機能を十分に発揮できない状況にあることから早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるため、当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工4.10ha 主な保全対象 総事業費 6,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	12,895千円	
	総費用（C）	5,621千円	
	分析結果（B / C）	2.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状を放置しては、未立木地の解消が困難なことから、早期に林地回復を図るためにも、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林機能の向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	岩内（いわない） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡島半島北部の岩内町に位置し、人工林が過密であることから植栽木や下層植生の生育が阻害されている状況である。 このまま放置すれば人工林がさらに過密化し、下層植生の生育を妨げ、表土の流出等の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、植栽木と下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐25.48ha 主な保全対象 総事業費 8,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	45,737千円	
	総費用（C）	7,692千円	
	分析結果（B / C）	5.95	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性は認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	黒松内（くろまつない） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡島半島北東部の黒松内町に位置し、人工林が過密であるため植栽木や下層植生の生育が阻害されている状況である。 今後、人工林がさらに過密化しさらに下層植生の生育を妨げ、表土の流出等の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため当事業を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐2.22ha 主な保全対象 総事業費 3,900千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	4,901千円	
	総費用（C）	3,750千円	
	分析結果（B / C）	1.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	室蘭（むろらん） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡島半島北東部の室蘭市に位置し、人工林が過密で植栽木や下層植生の生育が阻害されている状況である。 このまま放置すれば人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、表土等流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、植栽木と下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるために当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐12.61ha 主な保全対象 総事業費 6,450千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	30,646千円	
	総費用（C）	6,202千円	
	分析結果（B / C）	4.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	大野（おおの） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡島半島南西部の北斗市に位置し、人工林が過密であることから植栽木や下層植生の生育が阻害されている状況にある。 このまま放置すれば人工林がさらに過密化し下層植生の生育を妨げ、表土等流出の恐れが懸念されるため、早期に林内の照度を上げ、植栽木と下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業の実施を計画したものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐68.90ha 主な保全対象 総事業費 14,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	176,507千円	
	総費用（C）	13,942千円	
	分析結果（B / C）	12.66	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持、向上が期待できるため、有効性は認められる。 ・ 効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		